

委員からの 常任会からの 報告

町内所管事務調査

9月26日・27日

畜産クラスター関連事業
(株)エスツーファーム

《概要》

本事業所は、酪農後継者がいることから、将来を見据え、法人化を行い、115頭の搾乳が可能なロボット牛舎を整備したものである。現在の搾乳量は3・7t/日。従業員は10月から2名雇用し4名体制である。

《所見》

町内の酪農家において、競争力強化と収益性の向上等を図るため大規模化

が推進される中であって、本施設は先駆的な近代化の生産施設である。本町の基幹産業である酪農業の発展と安定化のため、関係機関等とのさらなる連携強化を。



事業承継事業

(阿部養鶏場)

《概要》

本事業は、事業承継を受け多額の投資を行い、

現在、19,000羽の鶏を飼育している。今後、さらに投資を行い数年かけて軌道に乗せていく計画。自然光を遮断して人工照明を効果的に行える、窓のない鶏舎となっている。

《所見》

今後、6次産業化の計画もあることから、事業の拡大などによって地域産業の発展にもつながる。



ていくことを期待する。

管理運営状況(五味温泉)

《概要》

当施設は、町からの指定管理により管理運営を行っている。宿泊客、日帰り客共に利用者は減少傾向にある。施設の老朽化も進んでいる。環境共生型モデル住宅(美桑)については、夏季は満室状態である。

宿泊研修交流施設

《概要》

町内旅館の廃業に伴い、誘致企業の冬季来町者の宿泊場所の確保を目的の一つとして、当施設「結いの森」は11月9日オープン運びとなった。管理運営は、一般財団法人下川町ふるさと開発振興公社が指定管理者となり管理運営を行う。

《所見》

町内交流人口の減少、既存宿泊施設の利用者減少などを踏まえると、当初の利用計画の実効性は厳しいと思われる。交流人口の増加に向けた確実性のある政策立案のもと実行を図っていく必要がある。

《所見》

当施設の老朽化が進むにあたり、年々修繕箇所等が増加してきている。2階研修室のシングルルームへの改修実施設計は完了している。地域の取り巻く環境などを十分に踏まえ、集客に結び付く施設の改修、改善に関する基本計画を早期に立てる必要がある。